

環境厚生委員会資料

1 予算案

第93号議案 令和8年度島根県一般会計補正予算（第4号）
〔関係分〕

・・・ 1

2 報告事項

国スポ トライアスロン競技の会場地について

・・・ 2

令和8年10月1日・2日
島根かみあり国スポ・全スポ局

令和 8 年度島根県一般会計補正予算（第 4 号）の概要 （令和 8 年度 9 月補正）

課別予算額（一般会計）

（単位：千円）

課 名	補正前の額 (A)	補正額 (B)	計 (A) + (B)
総 務 企 画 課	255,573	941,609	1,197,182
競 技 運 営 課	103,587	30,956	134,543
施 設 調 整 課	815,940	58,469	874,409
ス ポ ー ツ 振 興 課	1,817,828	16,112	1,833,940
合 計	2,992,928	1,047,146	4,040,074
うち一般職給与費	327,101	144,586	471,687
うち事業費	2,665,827	902,560	3,568,387

令和 8 年度 9 月補正予算 課別事業別一覧（一般会計）

（単位：千円）

課 名 事業名称	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳					
				国庫	使・手	寄・分	県債	その他	一般財源
合 計	2,992,928	1,047,146	4,040,074	0	0	0	0	2,560	1,044,586
総務企画課	255,573	941,609	1,197,182	0	0	0	0	2,560	939,049
一般職給与費	112,493	39,049	151,542						39,049
				一般職員 15人 → 20人 (7/1時点) + 5人					
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催基金積立事業費	46,200	902,560	948,760					2,560	900,000
				令和12年に開催を予定している島根かみあり国スポ・全スポの開催に要する経費（運営費）の財源に充てるため、決算剰余金を活用して基金積立を実施					
競技運営課	103,587	30,956	134,543	0	0	0	0	0	30,956
一般職給与費	56,249	30,956	87,205						30,956
				一般職員 9人 → 13人 (7/1時点) + 4人					
施設調整課	815,940	58,469	874,409	0	0	0	0	0	58,469
一般職給与費	56,249	58,469	114,718						58,469
				一般職員 9人 → 16人 (7/1時点) + 7人					
スポーツ振興課	1,817,828	16,112	1,833,940	0	0	0	0	0	16,112
一般職給与費	102,110	16,112	118,222						16,112
				一般職員 13人 → 15人 (7/1時点) + 2人					

国スポ トライアスロン競技の会場地について

1. 概要

国スポのトライアスロン競技について、島前 3 町村を会場地（コースは西ノ島町）として選定し、西ノ島町を中心に開催に向けた準備を進めてきた。

しかし、近年の宿泊施設やフェリー運航の情勢から、9 月 10 日、幹事町である西ノ島町は、島前 3 町村の総意として「宿泊施設の量的・質的確保や輸送能力の安定確保といった物理的課題を解消するのは極めて厳しく、島前での開催を断念する」旨を表明した。

2. 経過

- | | |
|--------------|--|
| 令和 4 年 12 月 | 県準備委員会総会にて島前 3 町村を会場地として選定 |
| 令和 6 年 11 月 | 中央競技団体（公益社団法人トライアスロンジャパン）による
正規視察（競技を行うコースが概ね決定） |
| 令和 7 年 10 月～ | 島前 3 町村において、受入体制、組織体制等に関する具体的検討
を進める。 |
| 令和 8 年 6 月 | 島前 3 町村から中央競技団体へ、宿泊・輸送等の懸念事項に
ついての協議書を提出 |
| 7 月 | 中央競技団体から島前 3 町村へ、「宿泊、輸送等の懸念事項が
多く、競技の安全性・公平性及び選手コンディション確保の
観点から、現状では開催困難である」旨の見解が示される。 |
| 9 月 | 西ノ島町長が「開催を断念する」旨を町議会において表明 |

3. 今後の対応

- ・ 会場地の取り下げについて、島前 3 町村からの文書の提出を受け、今後、県準備委員会に諮る。
- ・ 新たな会場地について、現在、県競技団体（島根県トライアスロン協会）と協議を進めている状況。今後、候補地となるコースの確認や関係自治体との調整等を行い、早期の会場地選定に向けて準備を進める。